

■ 鳥取県 伯耆町 パワフル伯耆まちづくり推進協議会 事務局長紹介

元気な日本をつくる会にて設立・運営アドバイス等の連携をしている「パワフル伯耆まちづくり推進協議会」の事務局長について、山陰中央新報（2014年11月26日）にて、ご紹介頂きました。

伯耆町の飲食店経営者や農家らがこじし2月、地域の活性化策を練る団体「パワフル伯耆まちづくり推進協議会」を発足させた。事務局長として会を引っ張る広告代理店社長の長谷川満さん(35)は「町の豊かな資源を生かしていきたい。『伯耆町と言えばこれだ』という魅力を見つけ、つくり出していく」と語る。

（米子総局報道部・陰山篤志）

「どんな団体ですか。」「豊や建材、農業、ホテル、飲食、美容などさまざまな業種の経営者ら約20人をつくる。20、40代が中心の若い団体だ」

この人

「パワフル伯耆まちづくり推進協議会」事務局長

長谷川 満さん

はせがわ・みつる 伯耆町大殿出身。米子市内の広告代理店勤務を経て、2012年に広告代理店「満開（同町大殿）」を設立した。松江市の人気ラーメン店のCMなどを手掛ける。同町大殿。



町の「これだ」をつくる

向かう中、連携して地域活性化のために動く必要性を感じた」

「特産の白ネギは、米子でも栽培が盛んです。伯耆町から望む大山も、町だけのものではない。これといものが、確かにまだ見あたらなにかもしれません。」

「そうだ。『伯耆町』といえは、これだ」というものをわれわれの手で見つけ出す。あるいは一からつくり上げていく。難しい取り組みだ。だが、そうだからこそ、やりがいもある」

「どんな活動に取り組んでいますか。」

「観光面の対外発信に力を入れている。8月に東京や関西の小学生約30人を伯耆町に招いた。地元の子どもたちと一緒にネギ農家で収穫体験をしたり、アユのつかみ捕りをしたりした。また、都会の子どもは見るものすべてが新鮮に映ったようだった。大山の魅力味わった。大山の魅力味わった。大山の魅力味わった。大山の魅力味わった。」

「子育で環境の充実にも力を入れている。そうすね。」「子どもを預けて遊ばせられる場所が少ない。来春をめどに、託児の機能を持った施設を町内に開きたい。育児相談に乗る担当者も置く。母親が子どもを安心して預けて、くつろげる場所をつくる」